

フォレスト

グループサポートウェビナー

2026年7月



留意事項

- 本トレーニングは、「完全版質問書シリーズ:フォレスト」セッションです。
中小企業向けSME版質問書にご回答される場合は、
別セッション「SMEシリーズ: 水セキュリティ・フォレスト」をご確認ください。
- ご質問がある場合は、CDPヘルプセンターへお問い合わせください。
- 本トレーニングの無断掲載は禁止しております。



アジェンダ

なぜ、フォレストについて開示を行うのか

対策を講じない場合のコスト

フォレストに関する開示の概要

完全版質問書：フォレストに関する質問の詳細

フォレスト情報開示へのリソース



なぜ、フォレストについて開示を行うのか

依存・インパクト・リスク・機会の把握と、情報開示が果たす役割



情報を開示し、行動を促す

人間活動が森林に与える影響に、早急に対処する必要がある。

75%

陸域生態系の75%が
深刻な転換に直面している。
[出典]

>50%

1960年以降、世界の樹木
被覆の半分以上が失われ、
[出典]、2000年以降では
11%失われている。[出典]

20-40%

の土地が劣化している。
[出典]

11%

世界の温室効果ガス排出量
の11%が、森林減少と不適
切な森林管理に起因するも
のである。[出典]



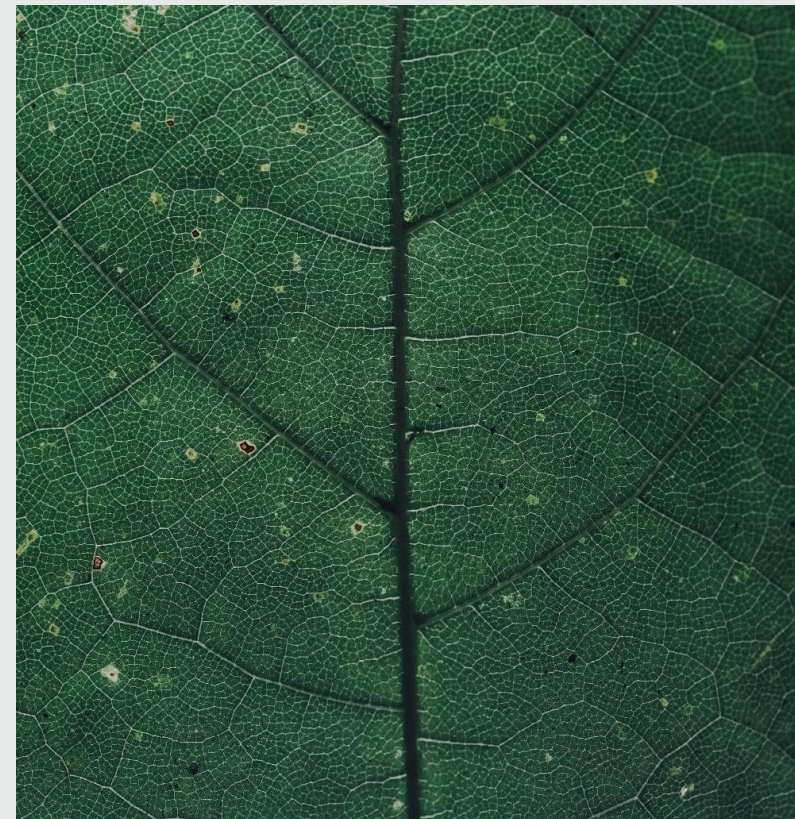
なぜフォレストに関する情報を開示するのか？

森林は経済活動を支え、気候の安定に重要な役割を果たしている。

150兆ドル 企業が依存する
森林の生態系サービスの経済価値

670万ha の熱帯林が他用途へ転換され、その
結果31億トンのCO₂が排出された。
(2024年)

2790億ドル CDPを通じて開示した企業が認識
したフォレスト関連リスクの潜在的財務
影響



気候変動と水への影響

75%

世界の淡水供給の75%は、
森林生態系に依存している。[出典]

30%

産業と化石燃料由来の温室効果
ガス排出量の30%を森林が吸収。
[出典]

80%

陸上動植物の80%が森林に依存
している。[出典]



図：森林を活用した適応策。FAO林業局（2022年）



どの産業が最も影響を受けやすいか？

非常に高い

極めて高い

高

中

農業

作物・畜産、木材の伐採、
ゴム樹液の採取、バイオ燃料
原料の供給、飼料、
タバコ



食品・飲料

食品加工、焼き菓子・シリア
ル、チョコレート、
食用油



建設

建築・交通インフラ整備、
不動産開発、
デベロッパー



アパレル

衣料品のデザイン・製造、
スーツケース・バッグ、
アクセサリ、
繊維製品



バイオテクノロジー

ヘルスケア、
製薬

医薬品、バイオ製品



化学製品

家庭用品、化学原料、
バイオ燃料



林業

パルプ・紙製造、
製材所、
木材製品



自動車

自動車、自動車内装、タイヤ。



レジャー・家庭用品

アクセサリ、
家具。



小売

食品、飲料、
木材製品、
卸売



パーソナルケア

歯磨き粉、
口紅、石鹸



印刷出版

看板、雑誌、書籍。



ホスピタリティ

ファストフード、宿泊サービス



金融サービス

投資、
融資など、
金融サービス



発電

エネルギー供給
(バイオマス
発電)



このチャートを参考に、自社の業界がどの程度
リスクにさらされているか(高・中・低)を把握す
ることが可能です。

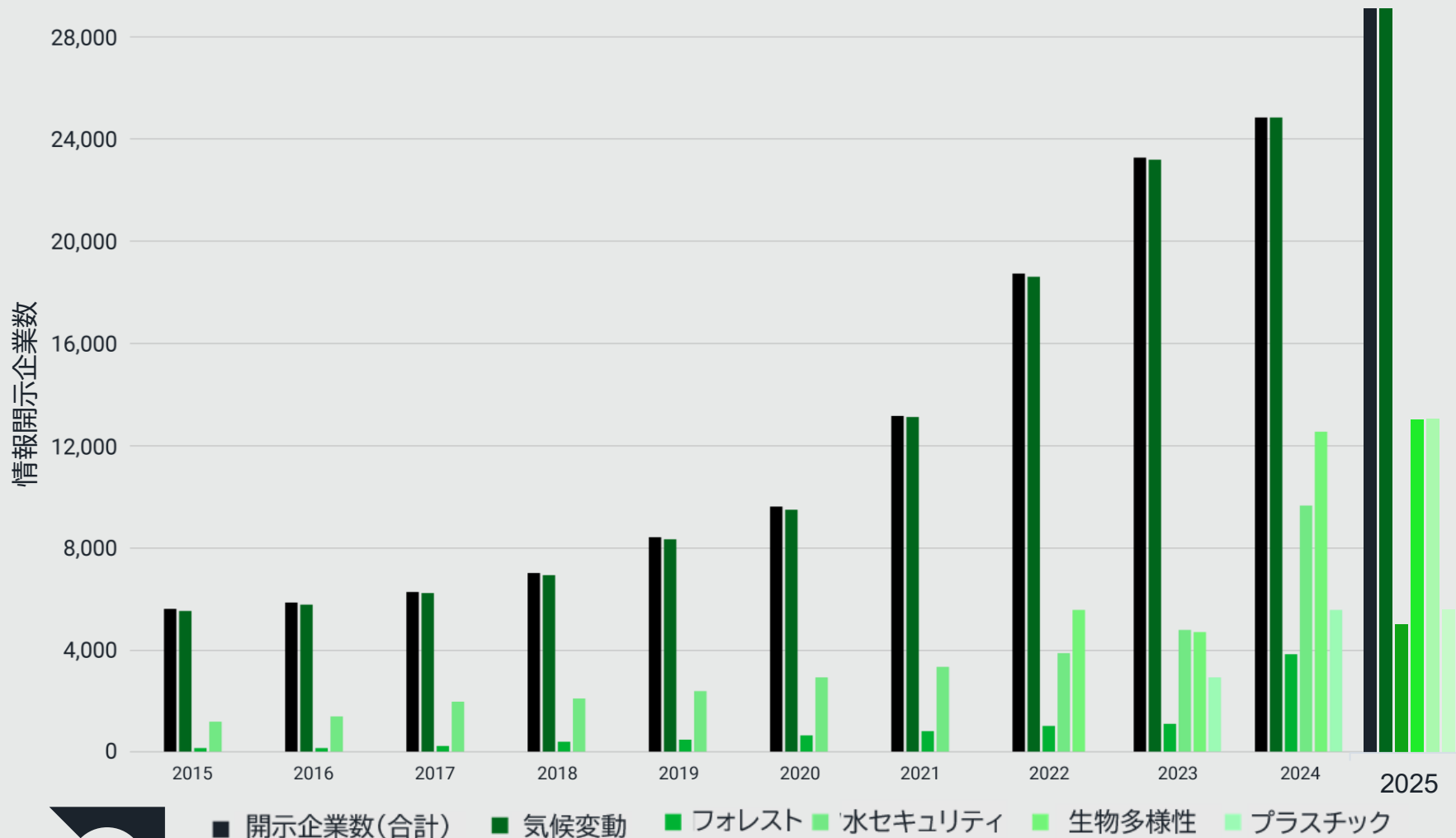
自社の業界の影響度が高い場合は、バリュー
チェーン上のコモディティを見直し、リスクの高
い分野から優先的に対応することが重要です。

森林減少への対策における サプライチェーンの重要な役割

- 2023年に、少なくとも1つの商品について、森林減少および転換のないサプライチェーンを100%実現したと報告したのは、**わずか64社**にとどまった。
- 森林減少と転換のないサプライチェーンに関する進捗状況を開示した企業は445社であったが、**包括的かつ質の高い情報を提供したのは186社のみであった。**
- 出典CDP2023データ



ネイチャーに関する情報開示の増加



3,828社がフォレストに関する情報開示を行った。(2025年)

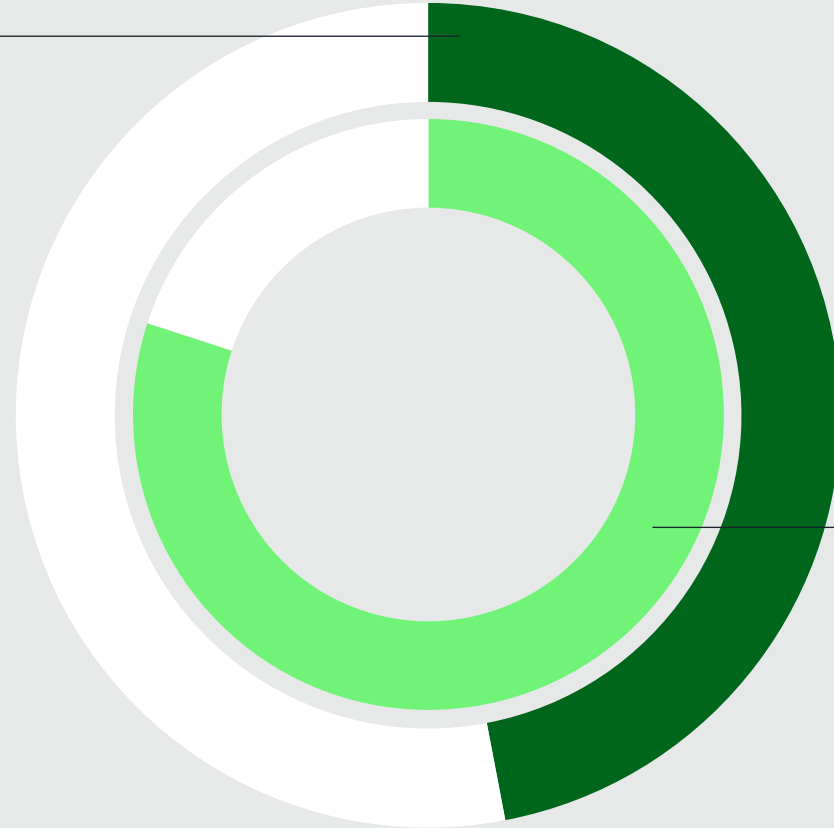
4400+の企業がCDP質問書の気候変動・森林・水に関する情報を開示した。(2025年)

気候変動、フォレスト、水セキュリティのすべての環境課題について開示を行った企業は2023年と比べて**316%**に増加。



森林に関する情報開示の増加による意識改変

CDPを通じて初めて
森林関連の開示を
行った企業のうち、
47%が森林に関する
方針やコミットメント
を策定している。



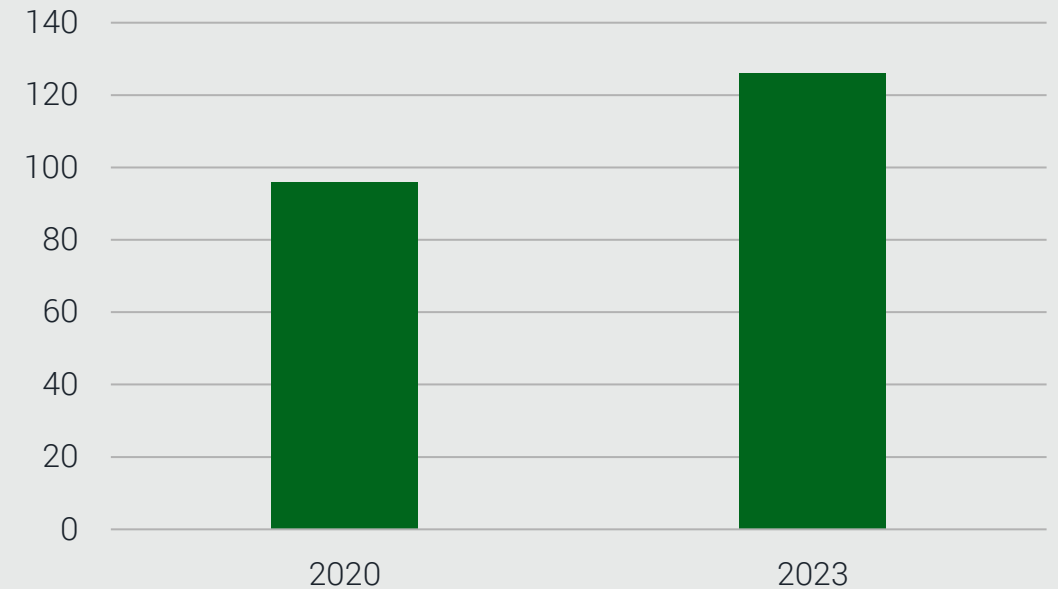
開示3年目には、回答
企業の**80%**が方針や
コミットメントを策定している。



企業の意識と行動

- 2020年から2023年まで一貫して森林減少の管理について報告している242社のうち約半数が、少なくとも1つのコモディティについて森林減少をほぼ根絶したと報告している。
- これは、2020年に同じ報告をしていた企業数(90社)から40%の大幅な増加である。
- 2023年に少なくとも1つのコモディティについて森林減少をほぼ根絶したと報告している企業は全体の35%(189社)に留まる。

少なくとも1つの調達コモディティで森林減少がほぼないことを報告している企業数



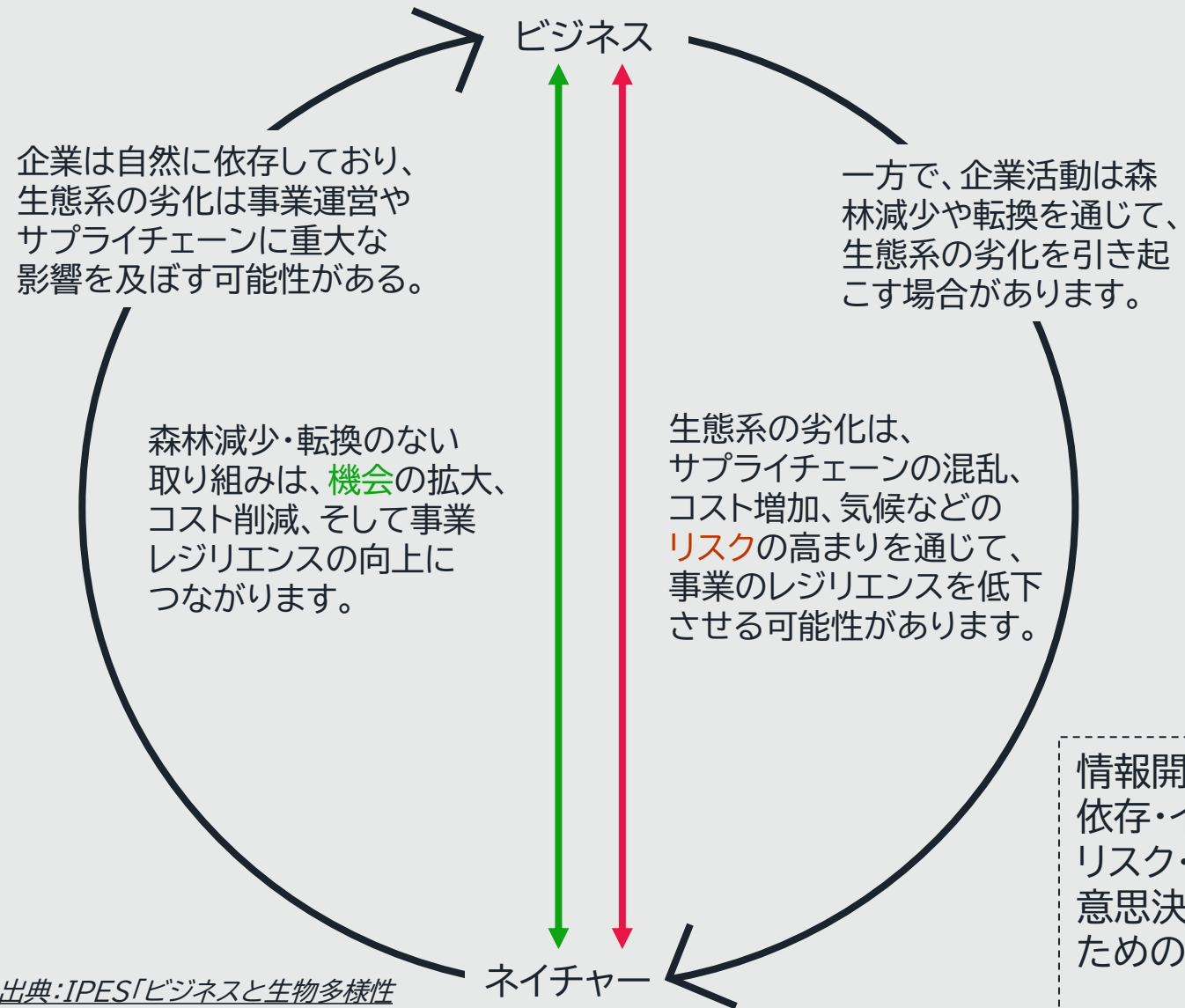
出典: Disclosure Data Factsheet 2023 – CDP
※2026年最新データは統計中



ビジネスにおけるレジリエンス

森林減少への対応は、サプライチェーンと事業のレジリエンス強化、法規制への対応、そしてステークホルダーからの期待に応える上で不可欠である。

出典：
世界経済フォーラム



出典: IPES「ビジネスと生物多様性に関する評価」を改編

情報開示は、依存・インパクト・リスク・機会を把握し、意思決定に活用するための重要な手段

対策を講じない場合のコスト



対策を講じない場合のコスト

平均して約3億米ドルのリスクがあるのに対し、

報告企業1社あたりの平均対応費用は1,740万米ドル。

何もしないことのコストは、行動を起こす費用の17倍以上になる可能性があります。

出典:2022年CDPデータ

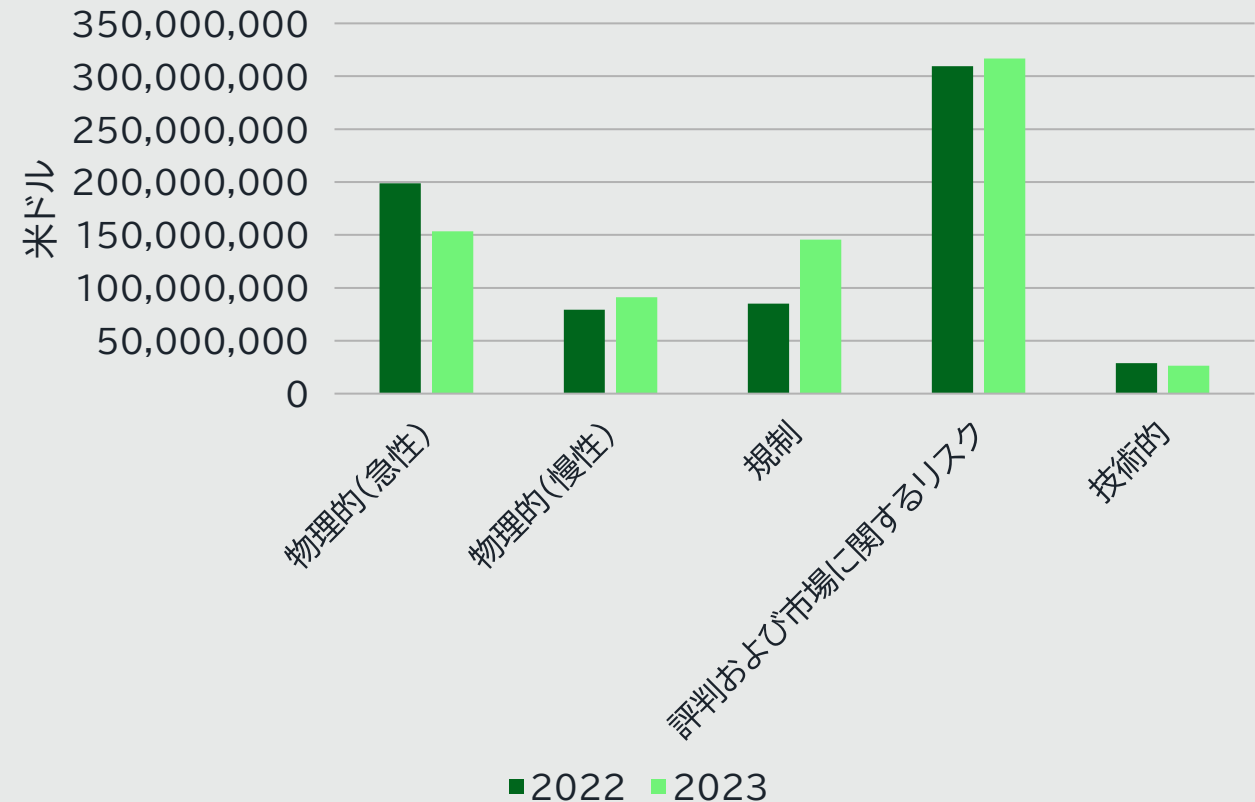


最新レポート:
貸借対照表に潜む盲点:森林減少が企業財務に与える影響(英)-CDP(2025)

フォレスト関連のサプライチェーンリスクは重大でありながら見過ごされている

- リスク要因の**52%**がサプライチェーンで発生
- 開示企業の**50%**以上がリスクの評価と査定を行っていない
- 特定のコモディティについて森林関連のリスクアセスメントを実施した企業の**84%**が、森林減少に関連するリスクを特定している
- そのリスクのうち、財務的な影響額を評価しているのは**54%のみ**

1社当たりの平均財務上の影響額(米ドル換算)



認識することは利益につながる

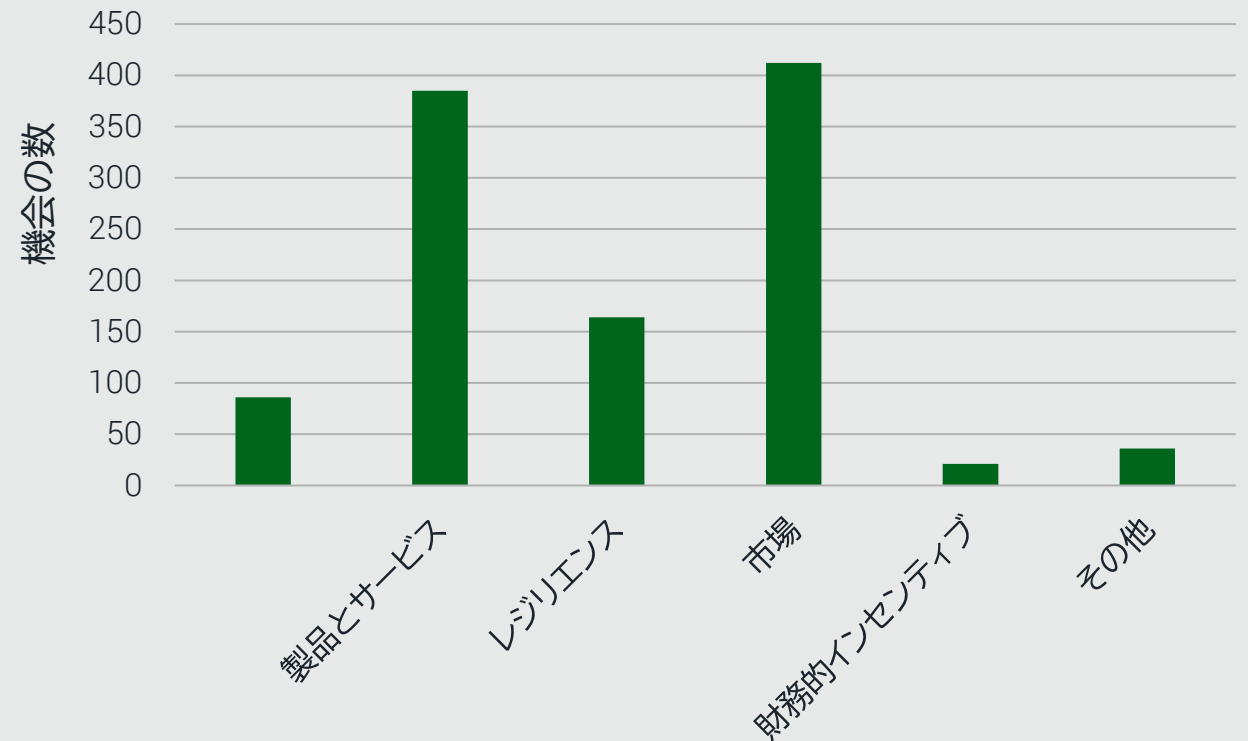
企業の29%は、森林関連の機会が自社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があるとして認識しています。

231 社が 580 億米ドル相当の機会を報告しました。

出典: 2022年CDPデータ

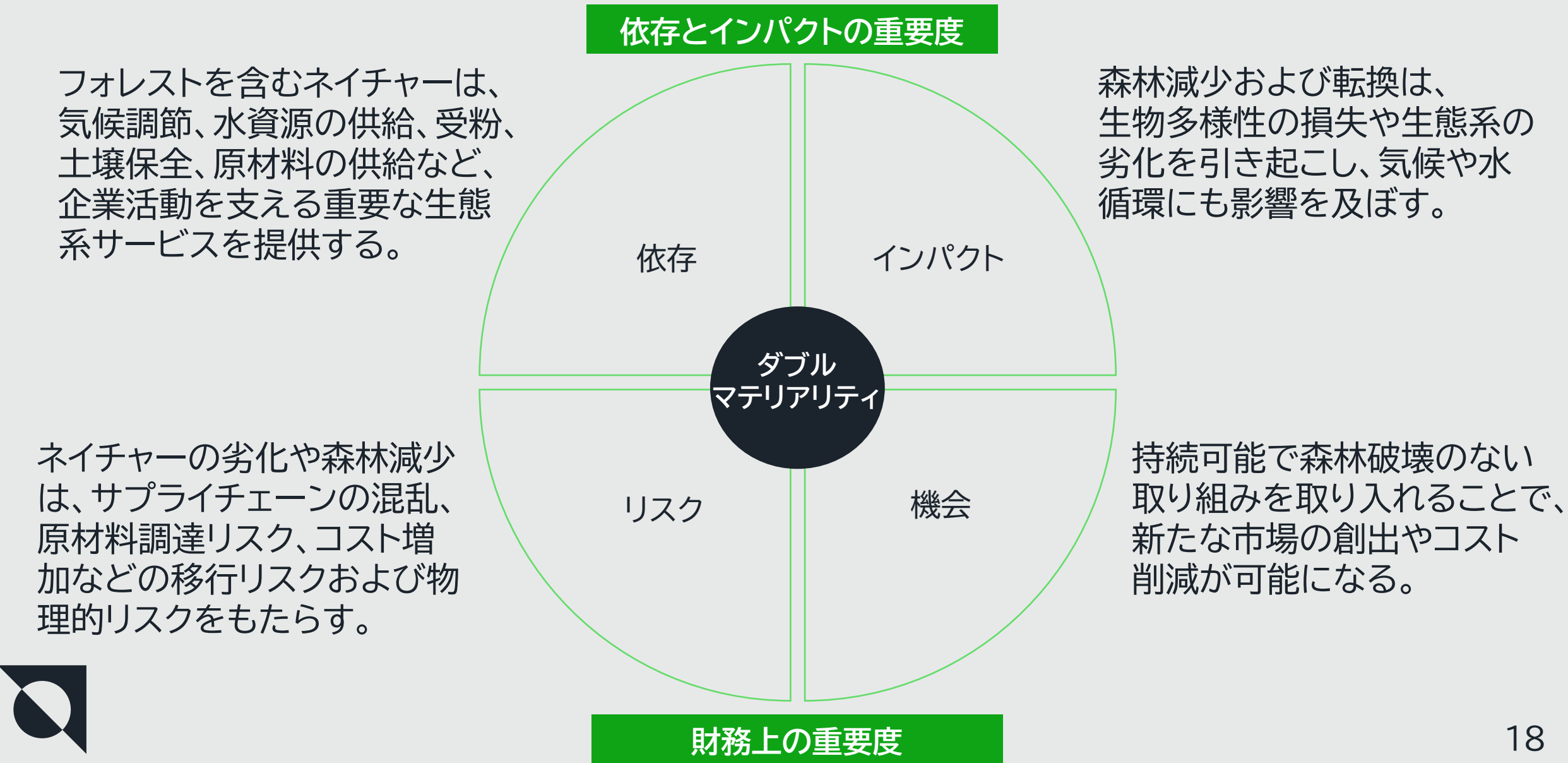


企業が特定した森林関連の機会



出典: 2023年CDPデータ

フォレストにおけるDIROとダブルマテリアリティ



フォレストにおけるDIROとダブルマテリアリティ(参考)

- 世界のGDPの50%以上が、自然およびその生態系サービスに中程度または高度に依存している。[出典]
- 企業や金融システムが依存する森林由来の生態系サービスの価値は、年間50～150兆米ドルと推計されている。[出典]
- 森林関連リスクによる潜在的な財務影響は3,270億米ドルと報告されている。(2024)
- 森林減少の継続により、2030年までに年間2.7兆米ドルのGDP損失が生じる可能性がある。[出典]



- 森林減少および土地転換は、世界の温室効果ガス排出量の11～15%を占める。[出典]
- 陸上生物種の約80%が森林に生息している。[出典]
- 食料・土地利用システムのネイチャー・ポジティブな転換により、2030年までに年間3.6兆米ドルのビジネス機会が創出される可能性がある。[出典]
- 2030年までに、食料・農業分野で4.5兆米ドルの新たな市場機会が創出される可能性がある。[出典]





フォレストに関する開示の概要

サプライチェーンにおける重要項目の説明



カカオ、コーヒー、 天然ゴムの情報開示

- 2026年、CDPはカカオ、コーヒー、天然ゴムもスコア対象とし、7つのコモディティ全てに関する開示の拡大を推進
- カカオ、コーヒー、天然ゴムに関して大きな質問変更はなし（スコアリングのため、既存質問に軽微な調整のみ実施）
- 報告負担を増やすことなく、7つのコモディティ全体で一貫したアプローチが可能



開示の主なメリット



資金調達
サプライヤーとしての
地位の向上

340以上の購買組織が、
調達決定にCDPのサプライヤー
データを利用している。



事業競争力の強化
リスク特定と機会創出

森林関連リスクの半数以上は、
自社事業ではなくサプライ
チェーン上に存在している。



コンプライアンス
規制・市場要請への対応

CDPを通じた開示により、
購買企業・投資家に対する情報開示
の透明性と一貫性を向上させること
ができる。



世界中の基準に準拠した開示を可能にする

CDPは、基準を組織が活用できる具体的な形に変換します。回答し、実行すべき質問やデータポイントを提供し、この質の高いデータを単一のデータセットとしてステークホルダーや市場に還元します。

整合済み



2024年よりIFRS S2
基準に準拠



GREENHOUSE
GAS PROTOCOL



Accountability
Framework
initiative



TASK FORCE ON
CLIMATE-RELATED
FINANCIAL
DISCLOSURES

2018年よりTCFDの提言に
準拠



整合性の拡大



ESRS E1との相互運用性が
極めて高い。



GRIの「気候変動:102」、「エネ
ルギー:103」、「水・排水:303」
に一部準拠



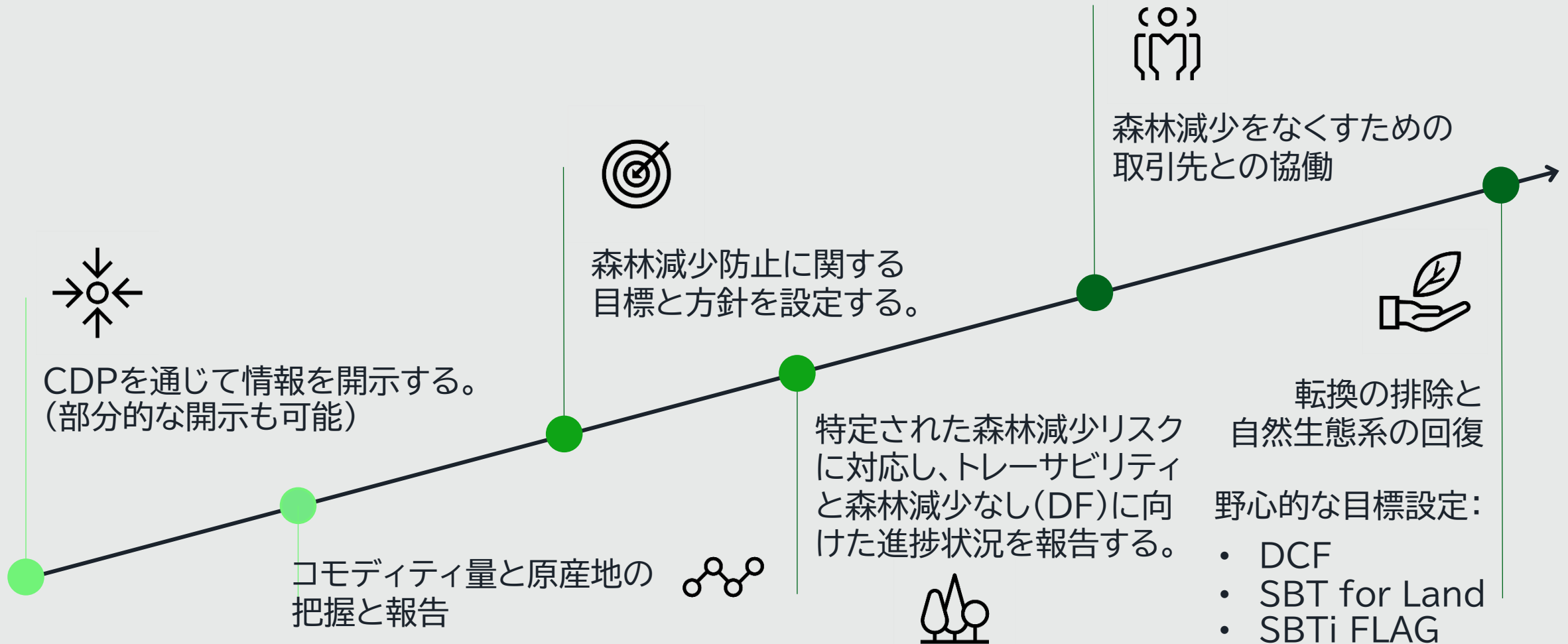
整合性を高めており、
完全な整合に向けて進展中



サプライヤー開示のロードマップ



フォレスト:

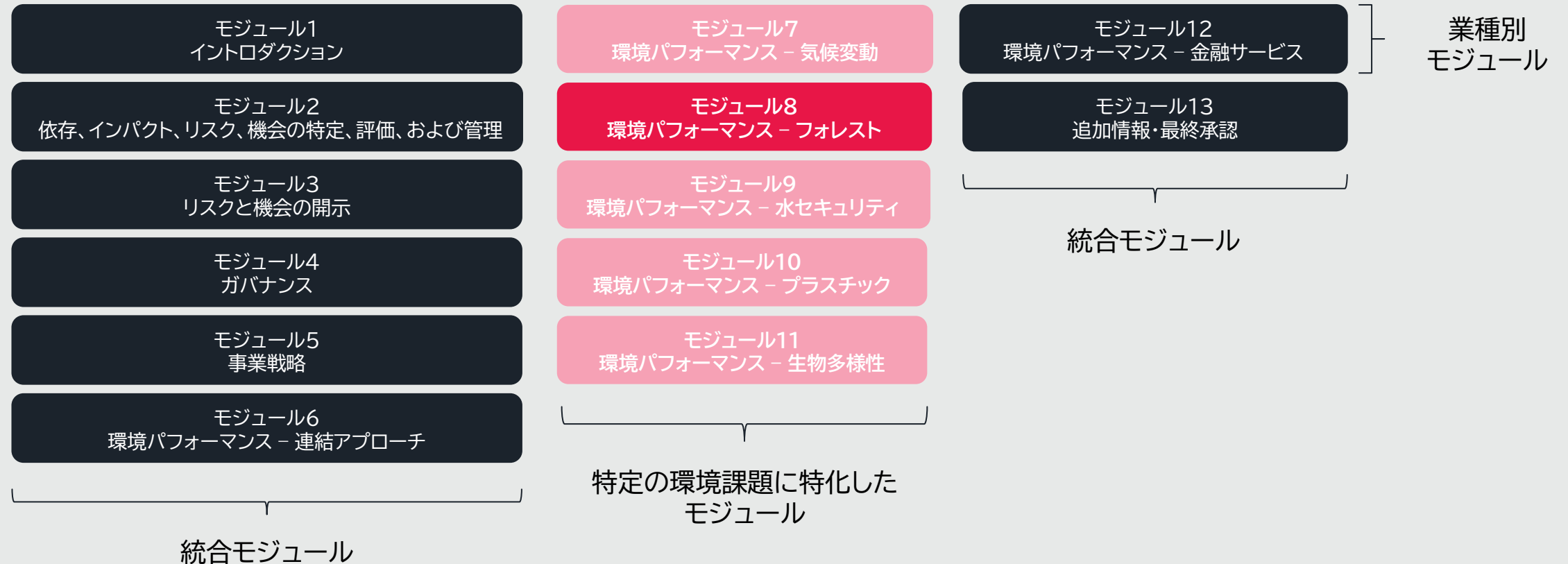


フェーズ1: 基盤の確立

フェーズ2: 能力の構築

フェーズ3: パフォーマンスの向上

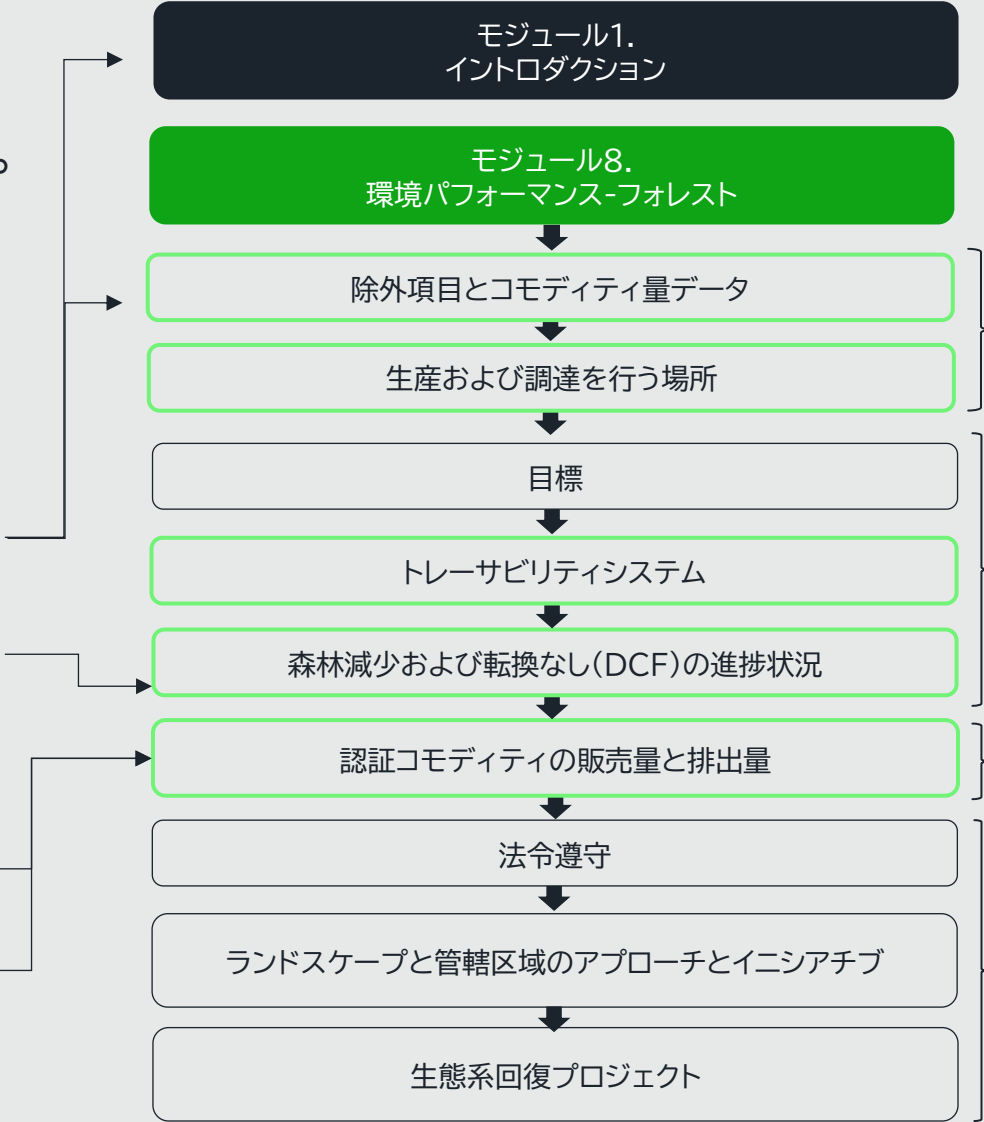
コーポレート質問書：完全版



完全版質問書：フォレストモジュールの構成

- CDPに対して情報開示を行う際、**公開形式**での情報開示を推奨します。
- 対応能力が限られている場合は、当初は以下の分野に関する情報開示を推奨します。:

- 1. 除外項目およびコモディティ量
- 2. 森林減少および転換なし(DCF)の取り組み状況
- 3. サプライチェーン固有の質問
 - 販売された認証済み量
 - 土地利用の管理や変化によるの排出削減量



コモディティ情報
包括的かつ代表性のあるデータの取得を可能にし、透明性を確保する。

DF/DCFパフォーマンス
森林減少なし(DF)または森林減少および転換なし(DCF)のバリューチェーン実現に向けての各組織の取り組みを示す。

CDPサプライチェーンメンバーから要請を受けた場合のみ

生態系スチュワードシップに向けた行動
森林関連のスチュワードシップへのコミットメントと積極的な行動を示す。

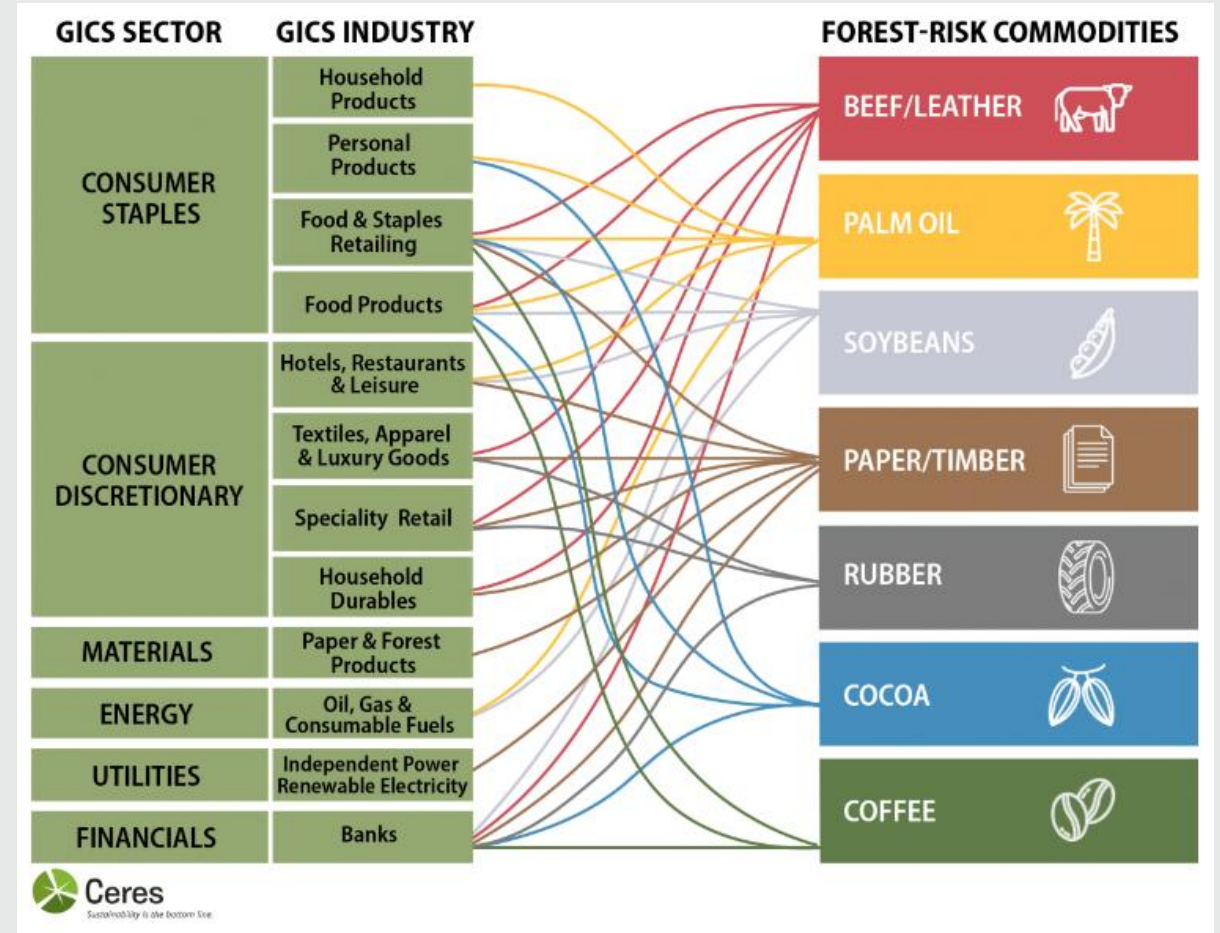


コモディティ情報開示の入門

森林への事業依存度を理解する：

1. 森林への影響を把握
2. 森林減少に関するリスクの把握
3. 森林減少に関する機会の把握
 - ・ 森林減少リスクの回避
 - ・ 森林喪失を逆転させるための事業戦略転換

※森林への依存＝森林減少との高い関連性があり、生産条件を生態系サービスに依存しているコモディティの生産または調達



質問書の設定：フォレスト

コモディティの開示

コモディティ	このコモディティについて開示を しますか？	このコモディティについて開示を しますか
木材	• はい ○ いいえ	• はい ○ いいえ
パーム油	○ はい • いいえ	○ はい ○ いいえ
畜牛品	• はい ○ いいえ	○ はい • いいえ
大豆	○ はい • いいえ	○ はい ○ いいえ
天然ゴム	○ はい • いいえ	○ はい ○ いいえ
カカオ	○ はい • いいえ	○ はい ○ いいえ
コーヒー	○ はい • いいえ	○ はい ○ いいえ



詳細については、CDPコーポレートの「[質問書設定](#)」プレビュー(英)を参照してください

ポイント:

コモディティデータ

なぜコモディティに注目するのでしょうか？

熱帯森林減少の 90% は農業によって引き起こされています (WWF)。

- 推定80%は牛肉(畜牛品)、大豆、パーム油、紙(木材製品)の生産によるものです。

組織は、CDPフォレストに関する質問を通じて、森林減少の7つの主要な世界的な要因について開示することができます。

- フォレスト質問書の約 30% はコモディティ関連です。

フォレスト質問書設定における留意点

- 質問書設定で開示するコモディティを選択ください。

コモディティ	貴社の組織は、報告期間中にこのコモディティを生産、調達、または使用しましたか？		このコモディティについて開示しますか？	
木材製品	☒	はい	☒	はい
	☐	いいえ	☐	いいえ
パーム油	☐	はい	☐	はい
	☒	いいえ	☐	いいえ
畜牛品	☒	はい	☐	はい
	☐	いいえ	☒	いいえ
大豆	☐	はい	☐	はい
	☒	いいえ	☐	いいえ
天然ゴム	☐	はい	☐	はい
	☒	いいえ	☐	いいえ
カカオ	☐	はい	☐	はい
	☒	いいえ	☐	いいえ
コーヒー	☐	はい	☐	はい
	☒	いいえ	☐	いいえ

- 生産・調達または使用したコモディティの質問で「はい」を選択していながら、開示の有無に関する質問で「いいえ」を選択したコモディティは、質問1.22で、その理由を説明する必要があります。その理由によっては、スコアに影響します。

- 質問書設定方法の詳細については、[質問書設定プレビュー \(CDP Corporate Questionnaire Setup - Preview\)](#)を参照ください。

ポイント:

コモディティデータ



CDPは、より透明性が高く、包括的かつ比較可能な開示データを作成するため、開示企業に対し、生産または調達したすべてのコモディティ量について報告するよう求めています。

- ・ コモディティ総量: 開示に含まれるか含まれないにかかわらず、生産または調達されたコモディティの総量
- ・ 開示量: 組織の開示に含まれる量
- ・ 生産量: 「開示量」のうち、企業によって生産された量
- ・ 調達量: 「開示量」のうち、企業が加工、取引、製造や包装のための原材料として、消費・調達・購入・使用した量

完全版	SME版
1.22、8.1、 8.3	14.8、21.1 21.3

例: A社

30,000トンの大豆を生産し、調達する。

「コモディティ総量」
= 30,000トン

報告年度の合併に伴う
10,000トンの大豆を除外

「開示量」= 20,000トン

「生産量」= 15,000トン

「調達量」= 5,000トン

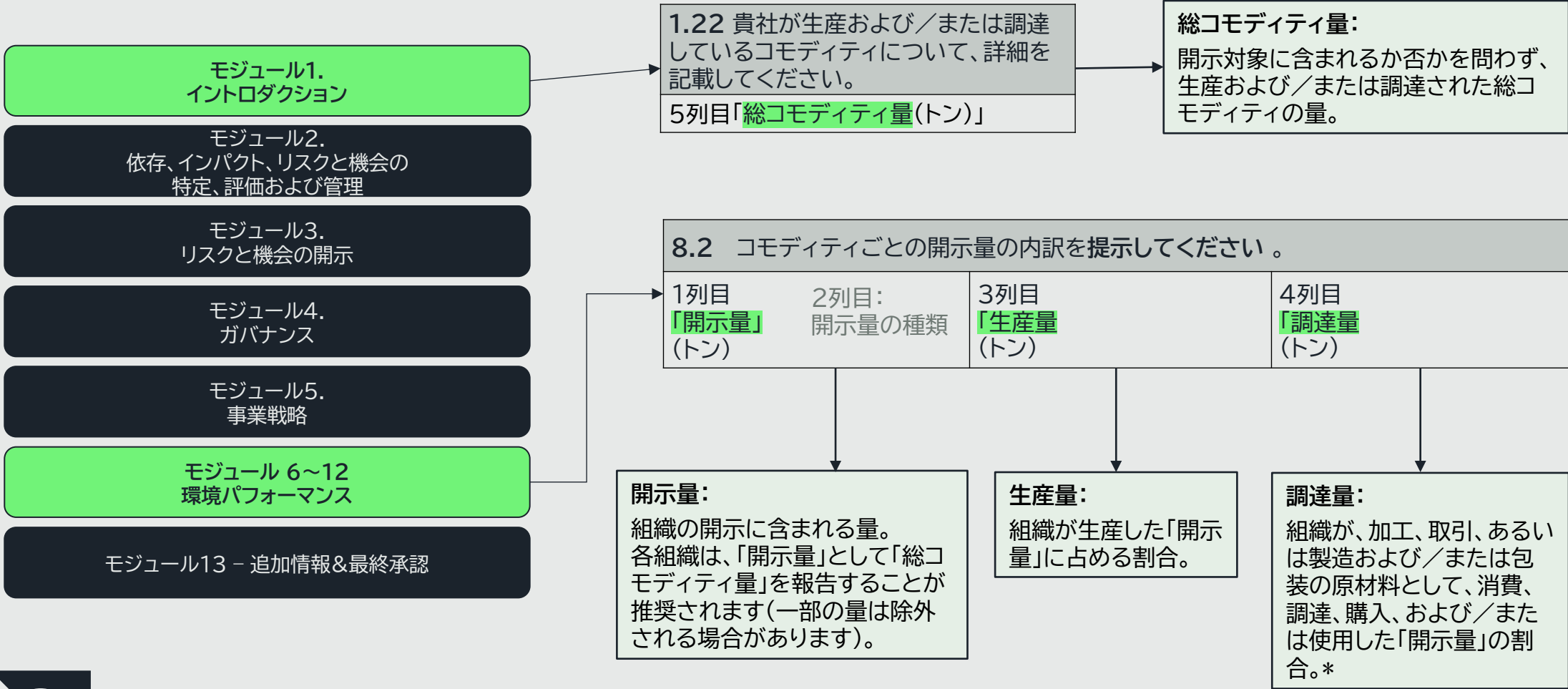


参考情報:

[コモディティ量の報告に関するCDPテクニカルノート](#)



コモディティ量の算出



コモディティ量の質問

8.2 コモディティごとの開示量の内訳を提示してください。

1列目: 開示量 (単位:トン)	2列目: 開示量の種類	3列目: 生産量 (単位:トン)	4列目: 調達量 (単位:トン)
------------------------	----------------	------------------------	------------------------

8.6.1 パーム油由来のバイオ燃料の生産・調達について

8.9 ボリュームのDF/DCF状態の評価

8.9.1 開示コモディティ量が、森林減少および転換なし（DCF）または森林減少なし（DF）状態であることを判定する第三者認証制度の詳細

8.9.2 DF/DCFの完全な保証を提供しない第三者認証スキーム

8.9.3 DF/DCFステータス状態の判定に用いられた生産ユニットモニタリングの詳細

8.9.4 DF/DCFステータス状態の判定に用いられた調達地域のモニタリングの詳細

8.10.1 森林減少および転換の量（フットプリント）モニタリングの詳細

8.11.1 DCFステータスの生産・調達量の増加に向けた措置の詳細

8.15.3 事業を展開している各ランドスケープ・管轄区域ごとの開示量

8.3 開示したコモディティの生産に使用された、貴社が所有、管理、および／または管轄する土地の詳細

8.4/8.4.1 開示したコモディティの生産に使用されなかった、貴社が所有、管理、および／または管轄する土地の詳細

8.2.1 貴組織が調達した動物性製品に含まれる大豆に関する詳細

8.5 調達量の原産国/原産地域に関する詳細

8.8.1 調達量を追跡できる地点の詳細



ポイント:

バリューチェーンマッピング



バリューチェーンマッピングとは：

組織内の活動、プロセス、価値創造の流れを理解するプロセス

プロセスの流れ：

1. バリューチェーン当事者を特定する。
2. 当事者が事業を行っている場所を特定する。
3. バリューチェーン間の関係性の特定をする。



間接的なサプライヤー
すなわちティア2以上



直接サプライヤー
すなわちティア1



貴組織

完全版
1.24
1.24.2

SME版
該当なし



最初のステップの例

1. 組織の活動を特定する
2. グループレベルのコードを割り当てる
3. 森林にとってリスクの高い活動における直接的なサプライヤーを特定する
4. これらの情報をもとに、バリューチェーンマップを作成する

参考情報：

- [CDPの活動分類システム\(日\)](#)
- [CDPの森林影響分類
\(CDPの産業別インパクト分類p.11参照\)\(英\)](#)
- [サプライチェーン管理に関するアカウンタビリティ・フレームワーク・イニシアティブ\(AFi\)ガイダンス \(英\)](#)
- [バリューチェーン評価に関するSBTNガイダンス \(英\)](#)
- [バリューチェーンに関するTNFDガイダンス \(英\)](#)

ポイント:

トレーサビリティ

トレーサビリティとは：
製品またはその構成要素を、上流バリュー
チェーンの段階を通じて追跡する能力を意味
する。(AFi, 2024)



未加工コモディティ



加工コモディティ



完成品／製品

完全版
8.8、8.8.1

SME版
21.5

トレーサビリティを確保する方法(例)

- ・ バリューチェーンマッピング
- ・ サプライヤーとのエンゲージメント
- ・ オープンデータプラットフォームを活用(例:TRASE)
- ・ デジタルトレーサビリティシステム/ブロックチェーンの活用
- ・ 物理的なトレーサビリティ認証(Chain of custody certification)の取得

参考情報:

- ・ 自然生態系の転換および森林減少なし(DCF)商品の生産および消費に関するCDPテクニカルノート(英)
- ・ サプライチェーン・マネジメントに関する説明責任フレームワーク・イニシアチブ(AFi)ガイダンス(英)
- ・ TRASEオープンデータプラットフォーム(英)



トレーサビリティレベル

最も低い
特定レベル

原産国・地域以外の原産地

例：ペルーの第一輸入業者
まで追跡され、原産国は不明

原産国・地域

例：ブラジルまで追跡され、
ブラジルで生産されたが、
ブラジル国内の原産地は不明

調達地域

例：ブラジルのマツグロッソ
地域で生産されたものでは
あるが、生産ユニットは不明

最も具体的な
特定レベル

生産ユニット

例：原産地の農園、農場、
牧場、森林管理単位まで
トレースされている

EUDRの要求事項



ポイント:



森林減少および 自然生態系の転換

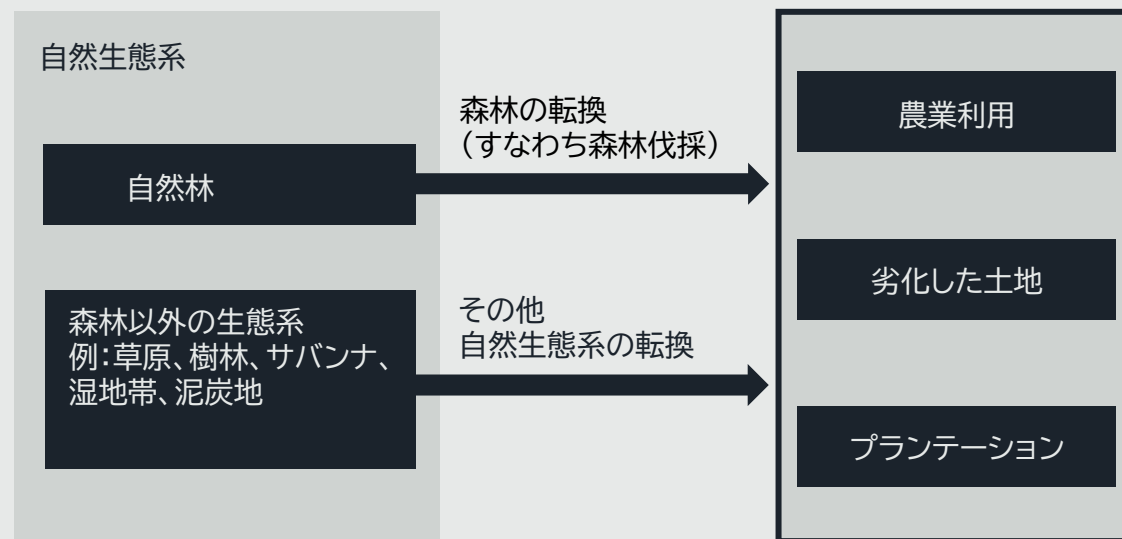
自然生態系の転換とは、**自然の生態系**が他の土地利用へ変化すること、または自然の生態系の種の構成、構造、機能に重大な変化が生じること。

森林減少とは、自然林を他の土地利用に転換すること、または、**自然林**の種の構成、構造、機能に重大な変化をもたらすこと。

完全版
8.9

SME版
21.6

森林は自然生態系的一种であり、森林減少は自然生態系の転換的一种である。



参考資料

アカウンタビリティ・フレームワーク・イニシアチブ
(AFi)森林減少と転換に関する定義適用ガイダンス (英)

ポイント:



森林減少および自然生態系の 転換なし(DCF)ステータス

森林減少なし(Deforestation Free)

森林減少を引き起こしたり助長したりしない、
コモディティの生産・調達、または金融投資のことを指す

森林減少および自然生態系の転換なし

(Deforestation and Conversion Free)

森林減少や自然生態系の転換を引き起こしたり、助長し
たりしない、コモディティの生産・調達、または金融投資を指す



完全版
8.9

SME版
21.6



証明する方法(例)

- 完全な保証を証明する第三者認証 (例: CoC認証)
- 生産単位のモニタリング
- 調達先のモニタリング

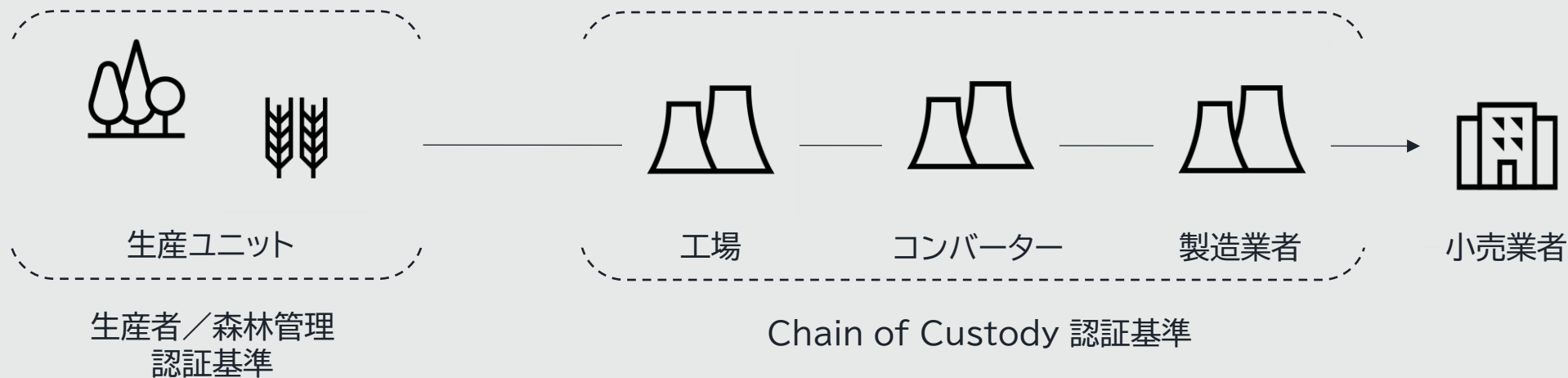
参考情報:

アカウンタビリティ・フレームワーク・イニシアチブ(AFi)

- ガイダンス: DCF報告 (英)
- AFi解説: 生産ユニットレベルでの法令順守評価 (英)
- 説明責任ある生産 (英)
- ウェビナー: 森林減少および転換のない農林産物の調達 (英)

第三者認証

完全なDF/DCF保証を提供するスキーム



適切なカットオフ日以降において、森林減少および自然生態系の転換を行わないという強固な要件があるか？



原材料供給の物理的な追跡可能性すなわち、分別管理(SG)または識別保持(IP)されたCoCモデルがあるか？



第三者認証スキームの例:

- ・FSC
- ・RSPO

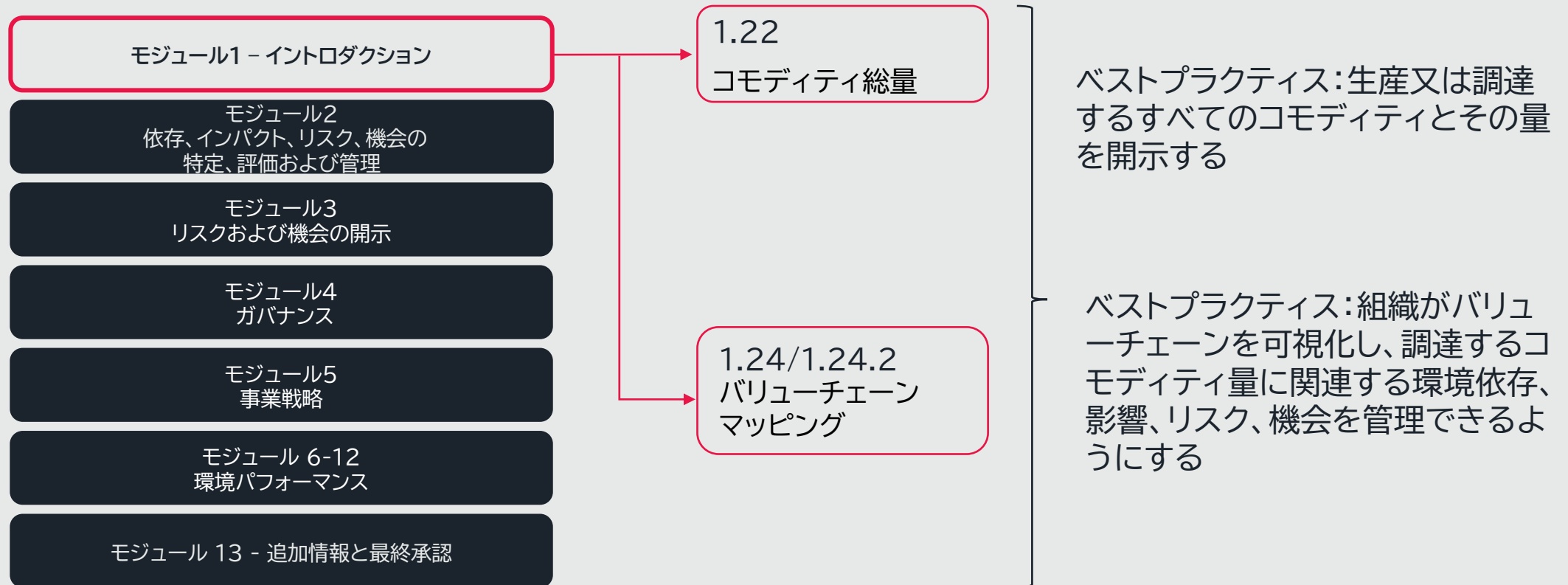
完全版質問書： フォレストに関する質問の詳細



情報開示による環境改善

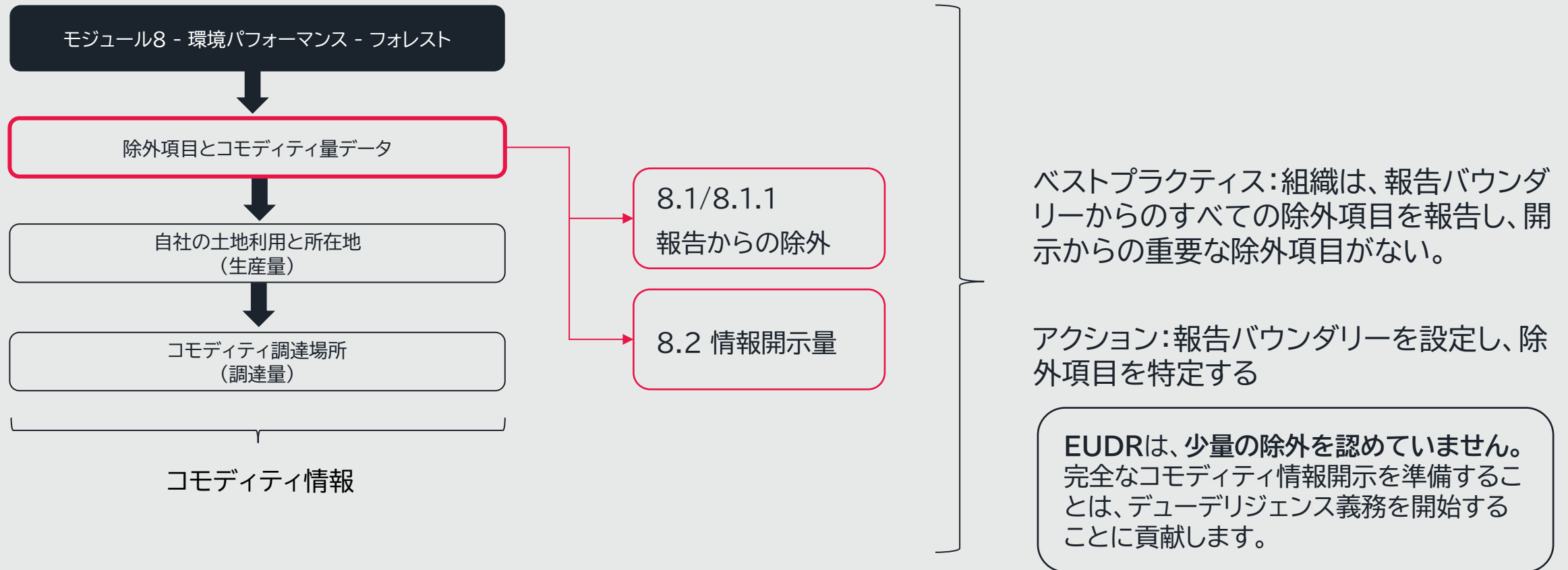
モジュール1

総コモディティ量とバリューチェーンマッピング



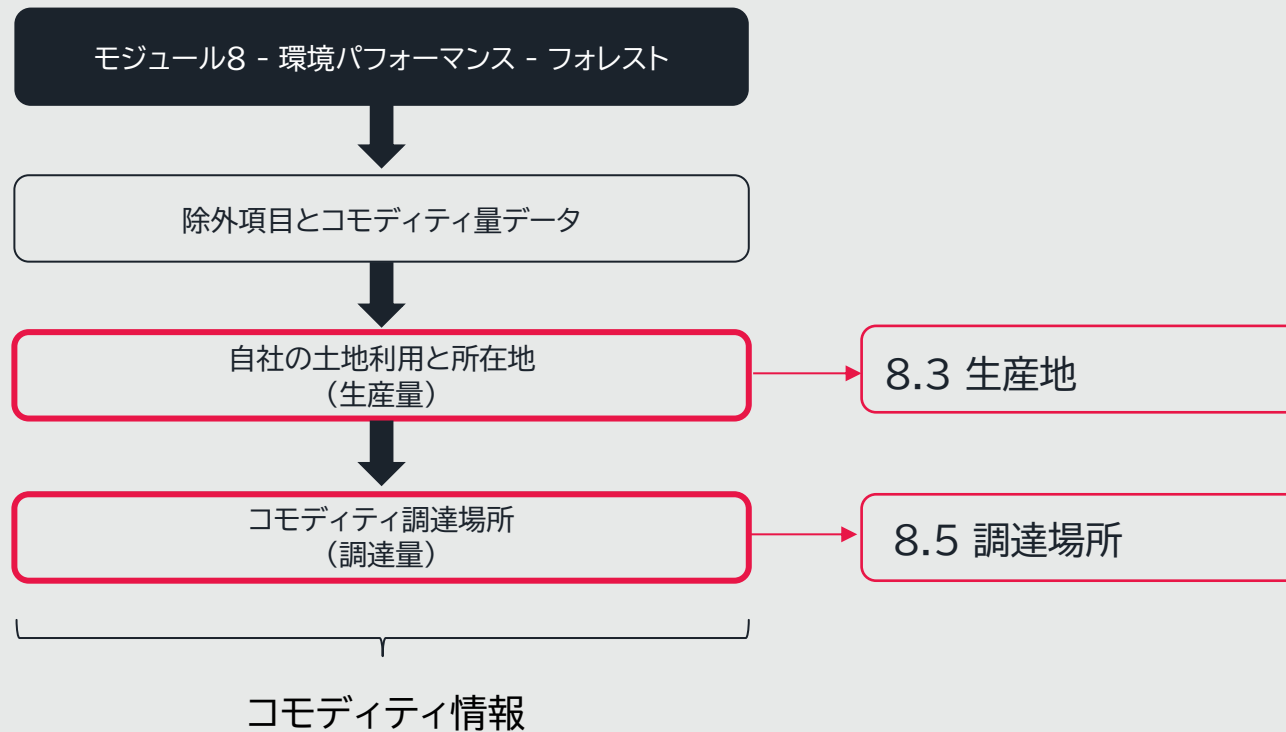
モジュール8 – フォレスト

除外項目とコモディティ量データ



モジュール8 – フォレスト

調達地と生産地



ベストプラクティス:

組織は以下を開示する:

- 自社が所有、管理、または支配するすべての拠点。
または管理するすべての拠点。
- 調達量のすべての原産地。

アクション:

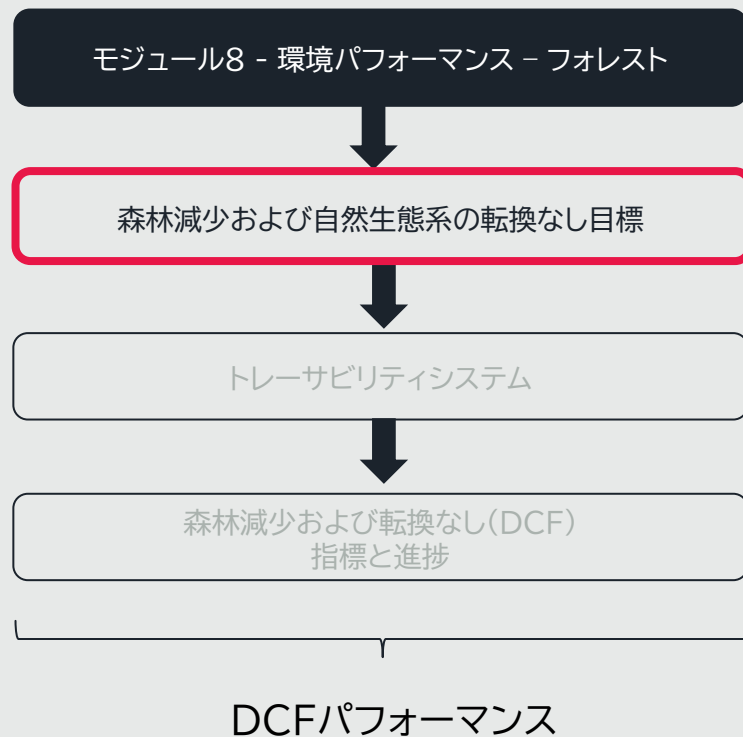
- 調達／生産場所を特定する。
- 地理参照地図またはシェープファイルを提供する。

EUDRは、コモディティが生産または収穫された土地の区画の地理座標を要求している



モジュール8 – フォレスト

森林減少および転換なし(DCF)目標



8.7/8.7.1/8.7.2
森林減少および転換なし
に関する積極的な目標

ベストプラクティス:

森林減少およびその他の自然生態系の転換を根絶するために、組織全体で期限付きかつ定量的な目標を設定する。

アクション:

- ・「森林減少なし / 転換なし」の定義を明確化
 - > 組織としての方針や基準を統一
 - > Accountability Framework Initiative (AFi) のガイダンスを参照
 - └ 森林減少・生態系転換に関する用語と定義の適用方法を提供

- ・指定期限(Cutoff Date)の特定
 - > セクターや地域で合意された基準日を明確に
例: ●年●月●日以降の森林減少を「なし方針違反」とみなす
 - > AFiの「Operational Guidance: Cutoff Dates」を活用し、整合性を確保



モジュール8 – フォレスト

トレーサビリティ



8.8
トレーサビリティシステム

8.8.1
トレーサビリティレベル

ベストプラクティス:

下記を確実にするための強固なトレーサビリティ・システムを有する:

- バリューチェーン全体における調達量の原産地が明確である、または管理されている
- 調達量が、指定された期限以降、生産中に森林減少やその他の自然生態系の転換が行われていないことを確認できる時点まで追跡されている

アクション:

- 既存のトレーサビリティ・システムを評価するために、直接のサプライヤーやステークホルダーに働きかける
- 次のステップとして、まずは自国や地域で実施されているトレーサビリティの取り組みを調査する。例えば、ブラジルの肉・革のバリューチェーンにおけるトレーサビリティイニシアチブ等。
>>こうした事例を参考に、自社のサプライチェーンに適した方法を検討していく



モジュール8 – フォレスト

コモディティの森林減少なし(DF)、森林減少および転換なし(DCF) ステータス



8.9 森林減少なし・自然生態系の転換の状況

8.9.1 認証 - 完全保証

8.9.2 認証 - 完全な保証を提供しない

8.9.3 生産単位のモニタリング

8.9.4 調達地域のモニタリング

ベストプラクティス:

- 組織はDFまたはDCF達成に向けた進捗を追跡する。
- 組織はDFまたはDCF達成に向けた進捗状況を開示し、DF/DCF量の算出に使用した関連する方法論を開示する

アクション:

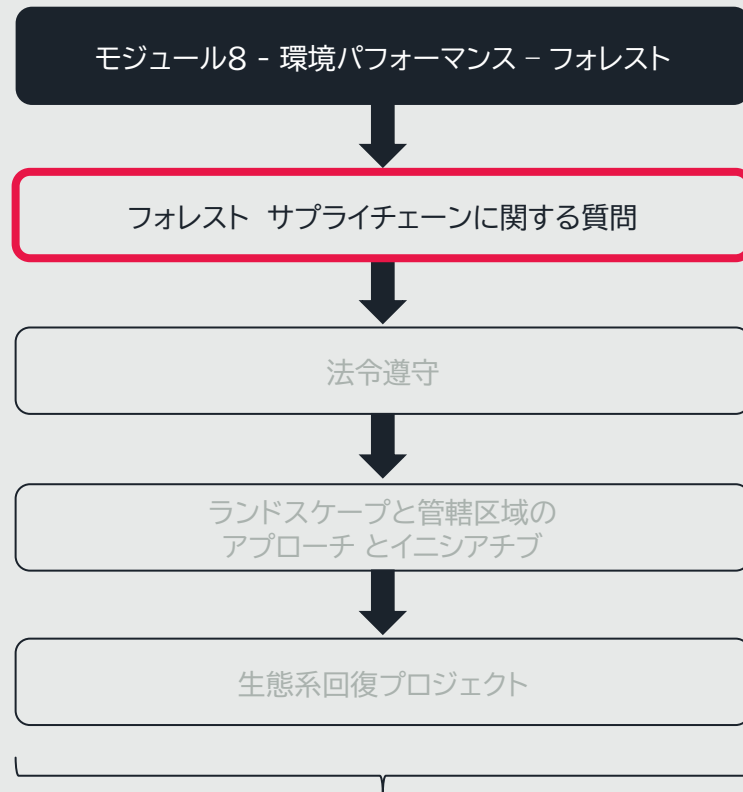
- DF または DCF のステータスを決定するためにどの方法を使用するかを確立する
→ 参考資料:[消費財フォーラム\(CGP\) コモディティロードマップ、DCF 方法論及びガイドンス](#)



回答例とDF/DCF認証リストは、[CDPテクニカルノート「Reporting progress on Deforestation- and Conversion-free value chains」](#)に掲載されています。

モジュール8 – フォレスト

CDPサプライチェーンに関する質問



持続可能なバリューチェーンへの取り組み

8.12.1

認証コモディティの販売量

ベストプラクティス:

- 取引先(要請元)に販売されるコモディティ総量のうち、第三者によって認証されたものの割合、使用された認証スキーム、および認証されたコモディティの形態を提供する

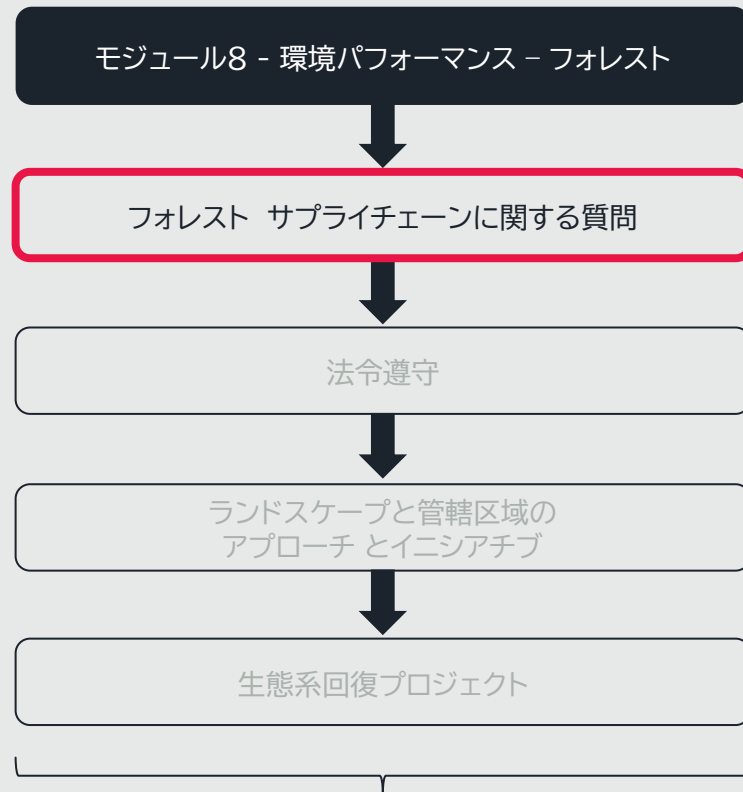
アクション:

- 自社が保有するすべての認証と、サプライヤーが保有する認証の情報を収集する。



モジュール8 – フォレスト

CDPサプライチェーンに関する質問



持続可能なバリューチェーンへの取り組み

8.13/8.13.1 土地の変化による温室効果ガス排出削減量

ベストプラクティス:

- 直接的事業及び/又は上流のバリューチェーンで発生した土地利用管理及び土地利用変化によるGHG排出削減及び/又は除去に関する情報を提供する

アクション

- 排出削減効果をもたらした活動に関する情報を収集すること



フォレスト情報開示へのリソース



ガイダンスとサポート

2026年の情報開示のためのリソース

- [質問書と報告ガイダンス](#)
- [CDP2026質問書における変更点](#)
- [CDPの開示およびスコアリング関連資料](#)
- [CDP ヘルプセンターおよびサポートチケット用ナレッジベース](#)
- [よくある質問\(FAQ\)](#)
- 利用可能なすべてのガイダンス文書は、[こちらから](#)ご覧いただけます。



フォレストに関する リソース

CDP森林開示リソース

- CDPテクニカルノート:森林減少および土地転換のないバリューチェーンに関する進捗報告
- CDPテクニカルノート:コモディティ量の報告

その他のリソース

- アカウンタビリティ・フレームワーク・イニシアティブのeラーニング・プラットフォーム
- アカウンタビリティ・フレームワーク・イニシアティブのツールおよびガイド
- Proforest Academy eラーニングプラットフォーム

スコアリング対象となる

回答提出期限

2026年9月16日



本日はご参加いただきありがとうございました。

ご不明点ございましたら、ポータルにサインイン後、
ヘルプセンターよりお問い合わせください。

